



令和6年6月14日

各 位

会 社 名 ファーマライズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 秋山 昌之
(東証スタンダード・コード番号 2796)
問合せ先 取締役 沼田 豊
(TEL. 03-3362-7130)

令和6年5月期通期連結業績予想の修正
及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、令和6年3月25日に公表いたしました令和6年5月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、修正の理由及び特別損失の計上についてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

令和6年5月期通期連結業績予想数値の修正（令和5年6月1日～令和6年5月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益 又は親会社 株主に帰属 する当期純 損失 (△)	1株当たり 当期純利益 又は 1株当たり 当期純損失 (△)
前回発表予想 (A)	百万円 54,086	百万円 1,056	百万円 978	百万円 168	円 銭 16.01
今回修正予想 (B)	54,466	916	835	△257	△24.44
増減額 (B-A)	380	△140	△143	△425	
増減率 (%)	0.7	△13.3	△14.6	-	
(ご参考)前期実績 (令和5年5月期)	52,030	1,438	1,431	333	35.45

2. 修正の理由

売上高につきましては、処方せん応需枚数の増加に伴い増加傾向が続いており前回発表予想から380百万円の増加を見込んでおります。

一方、令和3年5月期から令和5年5月期の3年間を対象期間として、子会社間取引に伴う消費税処理の取扱いについて、東京国税局の税務調査により指摘を受けております。当社と東京国税局との間で一部見解の相違があるものの、令和6年6月4日に東京国税局からの審査結果説明を受け、税務上は東京国税局の見解に基づいた計算を行い、連結損益計算書への反映を見込んでおります。これにより、令和6年5月期において、前回発表予想から販売費及び一般管理費の租税公課が238百万円増加し営業利益、経常利益に影響を及ぼす見込みです。

また過年度分につきましては、税額増加等により 367 百万円の特別損失を計上いたします。その他、下記の通り 281 百万円の特別損失を見込んでおります。

これらの結果として親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想から 425 百万円減少することを見込んでおります。

以上から、これらが前回の業績予想数値から変動することとなり、令和 6 年 5 月期通期連結業績予想数値を上記のとおり修正することといたしました。

3. 特別損失の計上

過年度税額等の増加により 367 百万円、加えて一部不採算店舗を対象として子会社店舗及び業績悪化により当初の効果が見込めなくなったことによる子会社のれんに係る減損損失により 240 百万円、及び令和 6 年 4 月 1 日の大雨で当社所有不動産建物下の斜面が崩落したことに伴う改修工事として 41 百万円の特別損失の計上を見込んでおります。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上